

生花の香りの花き販売への利用

新鮮で瑞々しい香りは、生花の持つ大きな魅力の一つです。一方で香りは目に見えないため、消費者に伝えるのが難しく、その魅力は花きの販売に活かされていません。生花の香りの特徴を消費者に分かりやすく伝えるためのツールが求められています。

そこで、生花の香りの官能評価および香気成分の分析結果などの科学的な知見を、一般の消費者に分かりやすいようにまとめ、花き販売の現場で使いやすい POP 広告を作成しました。ここでは、ユリ切り花での取り組みについて紹介します。

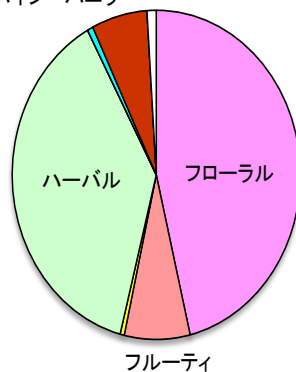
☆ 技術の概要

1. 市場に流通しているユリ切り花品種の香りを分析し、検出された成分について、香りをイメージしやすい香気成分群に分類しました。その分類に基づき、ユリ品種の香気成分組成図を作成しました（図1）。
2. ユリ切り花の官能評価により、品種ごとのキャッチフレーズと香りのコメントを作成し、香気成分組成図と合わせ、香り POP を作成しました（図2）。それらの POP を切り花販売に用いたところ、販売者からは、ユリの香りの特徴を具体的に説明できる、消費者からは、香りの違いでユリを選ぶことができる、と概ね好評でした。

ユリ「シベリア」の香気成分分析結果

香気成分	香りの分類	割合 (%)
リナロール	フローラル	46.2
安息香酸メチル	フルーティ	2.5
安息香酸エチル	フルーティ	3.7
β-ミルセン	ハーバル	2
オシメン	ハーバル	36.1
クレオソール	スパイシーバニラ	5.7
イソオイゲノール	スパイシーバニラ	0.5
その他		3.3

スパイシーバニラ



フルーティ



図1 ユリ「シベリア」の香りの分析結果により作成した香気成分組成図

図2 香り POP

☆ 活用面での留意点

1. 香りの情報については、ウェブサイト「花きの香り百科事典」に掲載しています。
<https://www.naro.go.jp/laboratory/nivfs/fragrance/index.html>
2. 香り POP 作成については、農研機構の HP よりお問い合わせください。

(農研機構 野菜花き研究部門 研究推進室 大久保直美)